

令和4年1月 定例記者会見(報告)

1 日 時 令和4年2月16日(水)13時～14時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、読売新聞、河北新報、毎日新聞、置賜日報
NHK、NCV

<市>市長、秘書広報課長

4 記者クラブからの質問事項

- (1) 12、13日に予定されていた雪灯籠まつりが中止となりました。2年連続の中止となったことへの市長の受け止めを教えてください。
- (2) まもなく震災11年を迎えるのに合わせ、3月11日前後に市として想定している事業があれば教えてください。
- (3) 新型コロナウイルスの感染者が県としても市としても増えていることについて、意見があればお伺いしたいです。まん延防止等重点措置の対象地域に追加されたことについて、市民への呼びかけがあればお聞かせください。

(4) その他

5. 内 容

○秘書広報課長

これより令和4年1月の定例記者会見を始めさせていただきます。初めに市長から本市の「春ま～ちウォーク 2022」について情報発信がございます。その後、記者クラブからいただいた事前質問に回答させていただき、質疑に入らせていただきます。

○市長

3月1日から14日まで、健康長寿日本一のまちづくりの一環として、運動による健康管理のため「春ま～ちウォーク 2022」を開催します。これは、米沢市民・通勤者限定のウォーキングイベントです。参加特典もありますから、多くの市民の皆様の参加を期待したいと思います。今年は大雪で大変でしたが、路面が見えている箇所もあります。3月になれば春が

近づいてきますから、ウォーキングで健康管理をしていただきたく、米沢市独自の取組を行います。

事前にいただいた質問は3点です。1点目は「12、13日に予定されていた雪灯籠まつりが中止となりました。2年連続の中止となったことへの市長の受け止めを教えてください」との質問です。昨年も中止でしたから、2年連続で四季のまつりの1つ、冬の雪灯籠まつりが中止になりました。コロナで沈んでいる社会や経済活動、人の心に雪灯籠で明かりを灯したいと思っていましたから、中止は非常に残念に思っております。また、より一層盛り上げるために、現在人気を集めている錦鯉さんたちのお笑いも予定していましたが、実際の開催はできなくなり YouTube での開催となりました。市民の皆様のご関心も高く残念に思っていますが、やむを得ない選択であったと思っております。

2点目は「まもなく震災11年を迎えるのに合わせ、3月11日前後に市として想定している事業があれば教えてください」と質問です。米沢会場の東日本大震災復興記念事業は県と連携してこれまで進めてまいりました。今年も準備をしていましたが、コロナ禍・まん延防止等重点措置が適用されている中で開催するのは厳しいとの判断に至りました。米沢市役所を会場とした慰霊碑の設置、献花、黙とうなどの準備を県と合同で進めていましたが、残念ながら2月3日の実行委員会・幹事会で中止を決定しました。米沢市として、風化させない思いをつなげるために地震の発生時刻に合わせた黙とうのほか、市民ホールで震災のパネル展示などを検討しています。展示の案ですが、南相馬市からの避難者で、米沢市で避難生活を経験された東北芸術工科大学の坂本菜利奈さんの作品『10years やまがた with 相馬野馬追』を展示する予定で進めています。また、3月9日から11日まで、過去の米沢会場の復興イベントDVDを放映する予定です。

3点目は「新型コロナウイルスの感染者が県としても市としても増えていることについて、意見があればお伺いしたいです。まん延防止等重点措置の対象地域に追加されたことについて、市民への呼びかけがあればお聞かせください」との質問です。意見ではありませんが、1日も早くコロナを収束させなければならない、という思いです。市民の皆様、飲食店をはじめとする経済界の皆様のご協力をいただきながら対策を進めてきましたが、感染者が多数確認され、まん延防止等重点措置の対象地域に指定されたことは重く受け止めております。今日も新たに18名の感染が確認されました。1日も早い収束のため、市民の皆様のご協力を引き続きよろしく申し上げます。

まん延防止等重点措置の対象地域に指定されてから最初に取り組んだことは、職員の感染予防の徹底です。また、すでにご存知と思いますが、チラシを作成し全戸配布をしました。外出や移動の自粛、会食での対策、日常での基本的な感染防止対策の徹底、企業へは体調不良の場合は休むことができる環境づくりをお願いしました。市のホームページや SNS での周知も行いました。今後とも、1日も早く収束するように取り組んでまいります。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上です。これ以降の進行は幹事社にお渡しします。

○記者

市長は「ラン&ウォーク」など積極的に参加してきたと思いますが「春ま〜ちウォーク2022」はどう取り組みますか。

○市長

ラン&ウォークは全国ランキングでの競い合いがありました。今回は1人でも多くの市民の方に参加いただくイベントですから、ほどほどに参加しようと思います。

○記者

雪灯籠まつり、上杉まつりどちらも2年連続で中止になりました。まつりの伝統・文化という観点から何か思うことがあればお願いします。

○市長

一度でも休むと、伝統・文化の継承は難しくなると思っています。昨年度も今年度も、中止した代わりに武いで式などは舞台上でできるように取り組みました。本来の上杉まつり、雪灯籠まつりが中止になったことは、地域経済に与える影響もありますが、一番重要視しているのは技術・文化の継承が途切れるのではないかとことです。また、これまで参加してきた皆様の意欲が低下し今後の開催に支障が出ないようにしなければならないと思います。

○記者

雪灯籠まつり、上杉まつりは高校生が参加するという点が大きいと思います。次の上杉まつりも中止となった場合、高校3年間1度も参加しないということになります。高校生の地元愛を育むために大きなイベントですが、その辺りのフォロー・ケアは何か考えていますか。

○市長

高校生だけでなく、小中学生も参加いただいています。特に高校生について回答します。郷土愛を育むにあたり、上杉まつりや雪灯籠まつりに代わるものはなかなか無いと思います。学校の方針もあるとは思いますが、高校生が自主的に参加することで交流が生まれ、文化を肌で感じるができますから、代替は難しいです。今年の春は是が非でも開催したいと思います。

○記者

震災に関して、他の都道府県だと10年の節目で式典を辞めてしまう自治体もありますが、米沢市では今後どういう展望ですか。

○市長

米沢には福島から避難された方、市民として生活している方がまだ大勢いらっしゃいます。年数が経てば風化していくものもあるかもしれませんが、こういった方々が米沢で生活している以上は、何らかの形で東日本大震災を受け継いでいけるよう対応したいと思います。

○記者

3月11日は黙とうの他に予定していることはありますか。

○市長

予定していたものは実行委員会の決定で中止になりましたから、今のところできることは黙とうだけになります。しかし、避難者の皆様から何か要請があれば考えたいと思います。

○記者

実行委員長が今年変わられたと思います。変わった年に何も行われなくなると、来年以降に何かするときに難しいものも出てくると思います。市民ホールでの展示以外に何かできれば良いと思いますが、いかがでしょうか。

○市長

県とも連携しながら、実行委員会の考え方・決定を尊重し、全面的に協力をします。

○記者

市の会計年度任用職員には避難者の方もいらっしゃると思います。実行委員会は別にしてそういった方々と連携して何か発信する予定はないですか。

○市長

就任して以降、例えば福島からの自主的避難者への支援が打ち切られた際、避難者の方々と連携して福島市や福島県に支援要望をしたこともあります。個人的にも避難者の皆さんと活動したこともあります。機会があれば、そういった方々と検討したいと思います。

○記者

まん延防止等重点措置が20日までだと思いましたが、市として延長の要請をする予定はありますか。

○市長

基本的には県がどう判断するかです。市内感染者は多い日、少ない日がありますから、それを見ながら検討したいと思います。

○記者

子どもの感染も多くなっていると思いますが、ワクチンの小児接種はどういった予定ですか。

○市長

小児接種は3月1週目を予定していましたが、県との協議の結果、3月2週目に接種を開始する準備を進めております。

○記者

当初は3月1週目の予定だったのでしょうか。

○市長

はい。3月6日の予定でしたが、1週間遅れて3月13日から開始する予定になりました。

○記者

それは、国からのワクチン供給に遅れが出ているからですか。

○市長

理由は承知していませんが、1週間遅らせてほしいということでした。ワクチンの量は確保できているとのことでした。

○記者

市長としては、できるだけ早くという思いですか

○市長

ワクチン接種は強制ではありませんが、多くの方に接種いただきたいと思います。小児接種・3回目接種の方いずれも、早く打ちたいという方には対応できるように準備しております。

小児接種については、副反応などのリスクを心配している保護者もいらっしゃると思います。その点は、保護者の皆様の判断によって接種する、しないが決まると思います。今、学校などで子どもの感染が広がっています。私としては、できるだけ接種いただいて、感染防止に努めていただければと思います。

○記者

新年度予算案について、ここを強調したいという点をお願いいたします。

○市長

令和3年度は市役所新庁舎の開庁や医療連携病院の着工など大きな建設事業がありました。令和4年度は新規の大規模な建設事業はありません。その中で、SDGs と行政の紐づけや、カーボンニュートラル、行政のデジタル化に取り組みます。また、紅花が世界農業遺産に認定される見込みです。これまではこういった事業の準備期間でありましたが、令和4年度は発展させる時期だと思っています。

○秘書広報課長

これをもちまして令和4年2月の定例記者会見を終了させていただきます。